

## 土木学会 原子力土木委員会

### 平成 28 年度 第 1 回 地盤安定解析高度化小委員会 議事録

1. 日時：平成 28 年 11 月 16 日（水）10:00～15:30  
（10:00～14:30：現地見学会，14:30～15:30：小委員会）

2. 場所：高浜原子力発電所

3. 出席者（順不同）

京谷委員長（東北大学），河井委員（東北大学），泉委員（北海道電力），大熊委員（九州電力），大野委員（鹿島建設），小川委員（四国電力），中村委員（電源開発），樋口委員（代理：佐藤氏，大林組），宮岸委員（北陸電力），小早川幹事長（電力中央研究所），審幹事（関西電力），石丸幹事（電力中央研究所），伊藤幹事（日本原子力発電），大島幹事（東京電力），橋幹事（中部電力），関口幹事（電力中央研究所），中村幹事（関西電力），西村幹事（ニュージェック），吉田幹事（電力中央研究所），辦野オブザーバ（代理：赤井澤氏，東北電力），小倉オブザーバ（関西電力），安藤オブザーバ（関西電力），宮崎オブザーバ（関西電力），和田オブザーバ（関西電力），久岡オブザーバ（関西電力）

4. 資料

H28-1-0	議事次第
H28-1-1	地盤安定解析高度化小委員会 委員名簿
H28-1-2	前回議事録（案）
H28-1-3	小委員会の今年度活動状況
H28-1-4	WG1 の活動
H28-1-5	WG2 の活動
H28-1-6	WG3 の活動
H28-1-7	SMiRT24 の状況

## 5. 議事

### 5.1 第1部：高浜原子力発電所の現地見学

関西電力高浜原子力発電所の概要の説明を受け、新規制基準に対応するための各種工事（背後斜面の安定化対策，防潮堤の地盤改良など）の状況を見学した。

### 5.2 第2部：小委員会

#### (1) 前回議事録（案）の確認

- ・ 前回の議事録（案）は，承認された。

(2) H28-1-3「小委員会の今年度活動状況」に基づき，小早川幹事長から説明があった。特に質疑はなかった。

(3) H28-1-4「WG1の活動」に基づき，大島幹事から説明があった。主な質疑応答を以下に示す。

- Q. 13 ページの解析結果の保守性について，引張り破壊後のせん断強度の落とし方が原因ならば，そこを修正することにより実験結果により近くなる可能性はあるのか？
- A. 現在，引張り破壊後のせん断強度を残留強度まで段階的に落とす方法も検討している。
- Q. 話題提供で使用した資料は，基本的にホームページで公開する予定か？
- A. 話題提供者に基本的に公開したいという旨を伝えた上で，公開できるものを公開したい。
- C. 実用化に向けた検討が本 WG の趣旨であるので，検討項目内容（4 ページ）に入れて欲しい項目がある方のご連絡をいただきたいと考えている。

(4) H28-1-5「WG2の活動」に基づき，中村幹事から説明があった。主な質疑応答を以下に示す。

- Q. 京都大学火山研究所周辺のすべり面は斜面に対してどのような構造で入っているのか？
- A. 軽石がすべり面として考えられており，山なりにゆるやかな構造になっていたと思われる。
- Q. 岩盤崩壊の落ちた岩塊はどこまで転がったのか？
- A. 斜面の角度は 40~50 度ほどあったが，斜面の低標高部に木が生えていたのでそれに引っかかったため，道路まで到達していないという状況であった。
- Q. WG2 で行う熊本地震の再現解析は，岩盤崩壊（4 ページ）を対象とするのか？
- A. 火山灰質土のすべり（3 ページ）と岩盤崩壊（4 ページ），それぞれ特徴的な崩壊であるため，両方で検討できればいいが，取得可能な物性によって再現解析の実施には制約があるので，今後 WG2 のメンバーで話し合っていく予定。

(5) H28-1-6「WG3の活動」に基づき、伊藤幹事から説明があった。主な質疑応答を以下に示す。

- Q. 側方流動による地盤沈下と地表地震断層による断層変位の違いは現地で区別できたか？
- A. 現地では、地表地震断層によって生じた横ずれや縦ずれ、2mほどの鉛直変位による落ち込みで旧鉱床跡の崩壊によるくぼみとも指摘されているものなど様々なものがあったものの、どれが地表地震断層による変位で、どれが地下の変状による鉛直変位なのかを明確に区別することはできなかった。

(6) H28-1-7「SMiRT24の状況」に基づき、伊藤幹事から説明があった。主な質疑応答を以下に示す。

- Q. "Division3に集約"とあるが Division とは？
- A. 研究テーマ毎の部門である。資料に記載の投稿内容で、一部が他 Division に属するものもあるが、Division3に集約して実施するという意味である。
- ・ 次回小委員会は、3月上旬に開催することになった。日程は、後日改めて調整することになった。

以上